

環境活動レポート

【 運用期間：2015年5月1日～2016年4月30日 】



発行：2016年 7月 1日

株式会社 ACフューアール

目 次

I. 組織の概要	・・・	P 3
II. 実施体制	・・・	P 5
III. 環境方針	・・・	P 6
IV. 環境目標	・・・	P 7
V. 環境活動計画	・・・	P 8
VI. 環境目標の実績	・・・	P 9
VII. 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容	・・・	P 10
VIII. 当社の取り組み	・・・	P 11
IX. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	・・・	P 12
X. 代表者による総合評価と見直し結果	・・・	P 13

【その他添付資料】

- 環境上の緊急対策
- 環境コミュニケーション受付表
- 問題の是正及び予防処置

I 組織の概要

1、事業所名及び代表者名

株式会社 ACフューエル
代表取締役：新井 芳高

2、所在地

静岡県榛原郡吉田町川尻4036-6

3、会社履歴

法人設立： 昭和44年（株式会社 新井チップ工業）
平成25年商号変更（株式会社ACフューエル）
資本金： 5000万円
事業年度： 当年5月～翌年4月

4、環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者：藤田 起也
担当者：新井 章子
連絡先 TEL：0548-33-3755
FAX：0548-33-3757
E-mail：acfuel.3755@gmail.com

5、事業活動

- ・製紙用木材チップ及び燃料用木材チップの製造業
- ・産業廃棄物収集・運搬業及び処分業の許可

種別	許可番号	許可期限	許可内容
静岡県産業廃棄物収集運搬業	第02201043917号	2012.1.6~2017.1.5	木くず
静岡県産業廃棄物処分業（中間処理）	第02221043917号	2012.1.6~2017.1.5	木くず

6、事業の規模（事業年度：当年5月～翌年4月）

	単位	2013年度	2014年度	2015年度	
売上高	百万円	222.19	219.29	234.07	
処理実績	産廃収集・運搬	m ³	5470	6056	7149
	中間処理	t	12824	15319	17075
従業員数	人	12	13	14	
延床面積	m ²	1385	1385	1385	

処理実績【2015年度処理実績（5月～翌年4月）】

処理方法等	廃棄物等種類	処理量（t）	
収集運搬	産業廃棄物	木くず	7149m ³
		木くず（製紙用）	7336.22t
処分	中間処理	木くず（燃料用）	9738.96t

7、 認証・登録の対象範囲

対象組織：株式会社ACフューエル 本社

対象活動：製紙用木材チップ及び燃料用木材チップの製造業
産業廃棄物収集・運搬業及び処分業

次項の「Ⅱ実施体制」参照

8、 保有設備

4 t アームロール車：2台

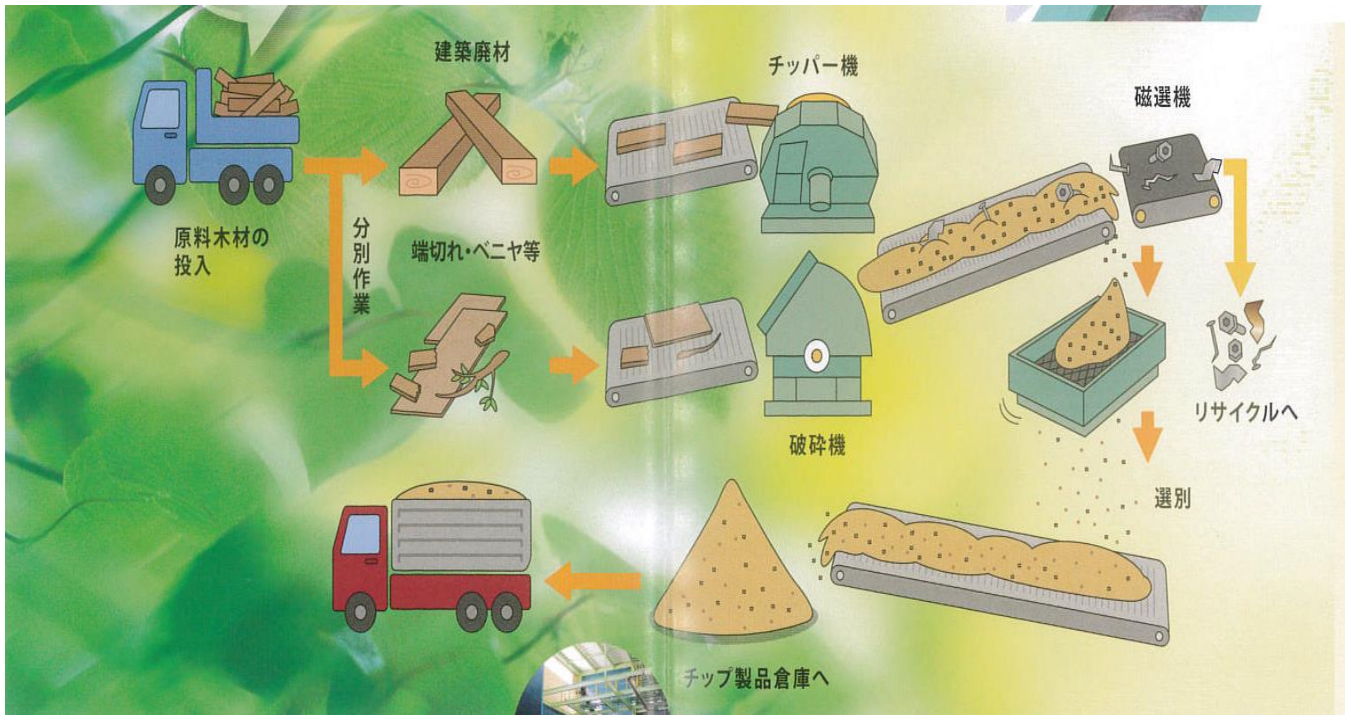
パワーショベル：4台 フォークリフト：2台

破碎機（チップパー機）1台 破碎機1台

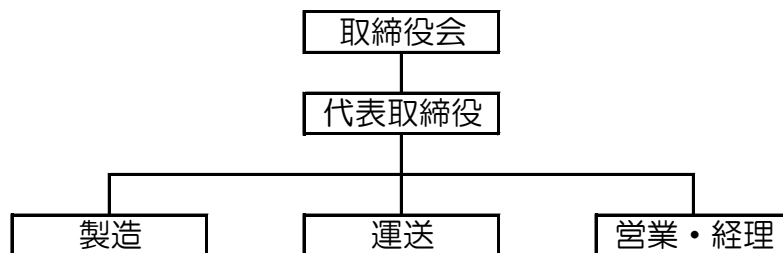
9、 施設等の状況（処分業）

施設の種類	産廃の種類	処理能力	処理方式
破碎機（チップパー機）	木くず	81.52 t/日	破碎
破碎機	木くず	162.08 t/日	破碎

10、 処理工程図



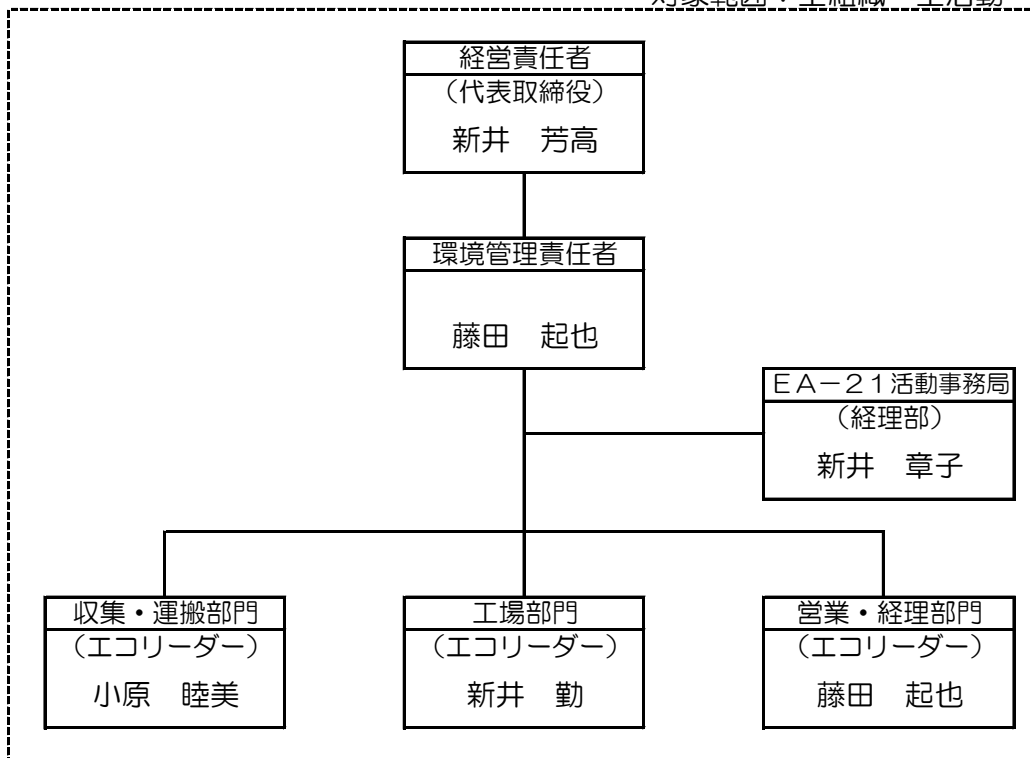
11、 組織図



Ⅱ 実施体制

2015年10月1日現在

対象範囲：全組織・全活動



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③環境への取組を適切に実行するための資源（人・もの・金）の準備
- ④全体の評価と見直し
- ⑤実施体制の構築

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21 活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門長（エコリーダー）

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

Ⅲ 環境方針

株式会社 ACフューエル 環境方針

[環境経営理念]

株式会社ACフューエルは、伐採木や木くずの製紙用原料及びバイオマスボイラー燃料としての利用を推進し、単に燃やして処分するのではなく、有効にリサイクルすることで「地球+人+環境にやさしい企業」を目指しています。

[基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な事業を展開いたします。

1. 全員で環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます
 - 1) 電気、軽油、ガソリンの省エネルギー活動の推進に努めます
 - 2) 木くずの全量リサイクルに努めます・産業廃棄物排出量の削減に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 環境に配慮した物品の調達と地域社会への取組
 - 1) 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます
 - 2) 廃棄物排出事業者に対して排出の指導・支援に努めます
3. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します
4. 環境コミュニケーションの積極的实施
社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践します

社内においては、全従業員に、この環境方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取組を展開します。

制定日 2015年 10月1日
改定日 2016年 7月1日
株式会社ACフューエル
代表取締役 新井 芳高 印

Ⅳ 環境目標

2014年度環境負荷の実績

項目		単位	2014年度	
			通年	10月～12月
二酸化炭素		kg-CO2	318,008	74,448
内訳	購入電力	kWh	230,852	58,078
	ガソリン	L	4,526	1,484
	軽油	L	62,097	15,701
	LPG	kg	5	0.6
受託した産業廃棄物処理量	収集運搬量	m ³	6,056	1,662
	中間処理量	t	15,319	3,979
	再資源化量	t	15,309	3,976
	再資源化率	%	99.9	99.9
産業廃棄物排出量		t	9.5	2.3
水使用量		m ³	105	29
グリーン購入の推進			現状把握	現状把握

短期・中期環境目標

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力（H2013年度）の「0.513kg-CO2/kWh」を使用

項目		単位	基準年度 (2014年度)	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素		kg-CO2	318,008	-0.5%	-1%	-1.5%
内訳	購入電力	kWh	230,852	-0.5%	-1%	-1.5%
	ガソリン	L	4,526	-0.5%	-1%	-1.5%
	軽油	L	62,097	-0.5%	-1%	-1.5%
産業廃棄物中間処理量		t	15,319	+2%	+4%	+6%
産業廃棄物リサイクル率		%	99.9	現状維持		
産業廃棄物排出量		t	9.5	-0.5%	-1%	-1.5%
水使用量		m ³	105	現状維持		
グリーン購入の推進			未把握	現状把握	-	-
苦情件数		件	0	現状維持		

V 環境活動計画

目的	区分	項目	責任者	活動項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	藤田	①消灯の徹底（1回/週チェックする）	○	○	○	○	○	○	○	
				②高効率照明機器の導入（LED化）	△	△	△	△	△	△	△	
		空調	藤田	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	○	○	○	○	○	○	○
				②クールビズ、ウォームビズ	○	○	○	○	○	○	○	
				③フィルター定期清掃	○	○	○	○	○	○	○	
				④使用していない部屋の空調停止	○	○	○	○	○	○	○	
				⑤遮光対策	○	○	○	○	○	○	○	
		コンプレッサー	新井	①エアー漏れの点検	○	○	○	○	○	○	○	
				②高効率コンプレッサー導入検討	△	△	△	△	△	△	△	
				③使用時以外の電源OFF	○	○	○	○	○	○	○	
		設備 その他	新井	①停止時メイン電源OFF	○	○	○	○	○	○	○	
				②デマンド計管理	○	○	○	○	○	○	○	
	③太陽光発電導入検討			△	△	△	△	△	△	△		
	④自動販売機の省エネ対策			○	○	○	○	○	○	○		
	ガソリン・ 軽油	乗用車 トラック 重機	小原	①エコドライブ	○	○	○	○	○	○		
				②日常・定期点検の実施	○	○	○	○	○	○	○	
				③省エネ車の導入検討	△	△	△	△	△	△	△	
				④排ガス対応車の導入検討	△	△	△	△	△	△	△	
				⑤アイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	
LPG	湯沸器	藤田	①使用時間規制	△	△	△	○	○	○	○		
廃棄物のリサイクル	事務所	藤田	①コピー用紙の両面使用	×	△	△	○	○	○	○		
			②廃棄物の分別とリサイクル	○	○	○	○	○	○	○		
			③集約化購買	○	○	○	○	○	○	○		
			④FAXのPDF化	○	○	○	○	○	○	○		
			⑤3Rの実践	○	○	○	○	○	○	○		
	産業廃棄物 一般廃棄物	藤田	①古紙、カン、ペットボトル等の分別化	○	○	○	○	○	○			
②分別作業による再資源化	○	○	○	○	○	○	○					
③排出事業者への指導、新規顧客の開拓	○	○	○	○	○	○	○					
節水	上水		小原	①節水意識の徹底	△	△	△	△	○	○		
グリーン購入	事務用品		藤田	①環境ラベル対応品の購入	○	○	○	○	○	○		
				②何回も使える物購入	○	○	○	○	○	○		
	用具・器具		藤田	①環境ラベル登録品の購入	○	○	○	○	○	○		
環境に配慮した自社の取り組み			藤田	①会社周辺の環境美化活動	○	○	○	○	○	○		
				②取引先への指導・助言	○	○	○	○	○	○		
				③火災予防対策の徹底	○	○	○	○	○	○		

VI 環境目標の実績

運用期間（5月～4月）実績

項目	単位	2014年基準	2015年目標	2015年実績	評価	
		5月～4月	5月～4月	5月～4月		
二酸化炭素	kg-CO ₂	318,008	316,418	295,437	○	
内訳	購入電力	kWh	230,852	229,698	221,402	○
	ガソリン	L	4,526	4,503	5,787	×
	軽油	L	62,096	6,1786	58,366	○
産業廃棄物処理量	t	15,319	15,625	17,075	○	
産業廃棄物リサイクル率	%	99.9	99.9	99.9	○	
産業廃棄物排出量	t	9.48	9.4	5.85	○	
水使用量	m ³	105	105	129	×	
事務用品のグリーン購入比率	%	未把握	現状把握	30%	○	
苦情件数	件	0	0	0	○	

* 電力、軽油、産業廃棄物リサイクル率、事業所排出廃棄物、グリーン購入はほぼ計画通り取組をすすめられたため、目標達成

* ガソリン、水使用量は目標未達成

ガソリン…エコドライブには気をつけているが仕事量の増加に伴い使用量が増えている。省エネ車の導入を社内検討。

水……………再度取り組み内容を全員に説明。

Ⅶ 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容

目次	項目	活動項目	評価		今後（次年度）の取組
			評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底（1回／週チェックする）	○	徹底されている	継続実施
		②高効率照明機器の導入（LED化）	△	随時導入予定	継続検討
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	徹底されている	継続実施
		②クールビズ、ウォームビズ	○	徹底されている	継続実施
		③フィルター定期清掃	○	1ヶ月に一度実施	継続実施
		④使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
		⑤遮光対策	○	取付け済	継続実施
	コッピラー	①エアー漏れの点検と修理	○	月一度チェック	継続実施
		②高効率コンプレッサー導入検討	△	社内検討中	継続検討
		③使用時以外の電源OFF	○	徹底されている	継続実施
	設備・他	①停止時メイン電源OFF	○	徹底されている	継続実施
		②デマンド計管理	○	取付け済	継続管理
		③太陽光発電導入検討	△	社内検討中	継続検討
		④自動販売機の省エネ対策	○	取付け済	継続管理
	乗用車・トラック・他	①エコドライブ	○	徹底されている	継続実施
		②日常・定期点検の実施	○	徹底されている	継続実施
		③省エネ車の導入	△	社内検討中	継続検討
		④排ガス対応車の導入	△	社内検討中	継続検討
		⑤アイドリングストップ	○	徹底されている	継続実施
	湯沸	①使用時間規制	△	対象者に指導及び改善	継続実施
廃棄物のリサイクル	事業所排出物	①コピー用紙の両面使用	△	裏紙使用	継続実施（強化）
		②廃棄物の分別とリサイクル	○	徹底されている	継続実施
		③集約化購買	○	徹底されている	継続実施
		④FAXのPDF化	○	徹底されている	継続実施
		⑤3Rの実践	○	徹底されている	継続実施
	産業廃棄物	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別	○	徹底されている	継続実施
		②分別作業による再資源化	○	徹底されている	継続実施
		③排出事業者への指導、新規顧客の開拓	○	徹底されている	継続実施
節水	上水	①節水意識の徹底	△	対象者に指導及び改善	継続実施
		②水漏れのチェック	-	-	新規取組
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○	実態調査	継続実施
		②何回も使える物購入	○	ボールペン・他	継続実施
	備品	①環境ラベル登録品の購入	○	実態調査	継続実施
環境に配慮した商品・サービスの取組		①会社周辺の環境美化活動	○	随時実施	継続実施
		②取引先への指導・助言	○	徹底されている	継続実施
		③火災予防対策の徹底	○	年1度訓練実施	継続実施

VIII 当社の取組み

◆デマンド計設置◆



◆ハイブリッドカー（営業車）◆



◆場内及び近隣の清掃活動◆



Ⅸ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者 藤田 起也

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (収集運搬)	マニフェストの管理	B2票の返却	2015/9/1
	マニフェストの保管	5年間	2015/9/1
	マニフェストの交付状況及び運搬実績の 知事への報告	6月30日までに提出	2015/9/1
	運搬業許可の更新	5年間	2015/9/1
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (処分)	廃棄物排出事業所との 委託契約	契約(書)の締結	2015/9/1
	マニフェストの管理	C2票、D票、E票の返却	2015/9/1
	マニフェストの期間内返却	90日以内または 180日以内	2015/9/1
	マニフェストの保管	5年間	2015/9/1
	廃棄物の適正処理	運搬基準、保管基準及び処分基準の遵守	2015/9/1
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	2015/9/1
	マニフェストの交付状況及び処理実績の 知事への報告	6月30日までに提出	2015/9/1
	処理業許可の更新	5年間	2015/9/1
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (排出事業者)	マニフェストの保管	5年間	2015/9/1
	マニフェストの交付状況及び処理実績の 知事への報告	6月30日までに提出	2015/9/1 2015/9/1
静岡県産業廃棄物の 適切な処理に関する条例	委託先の現地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	2015/9/1
	産業廃棄物管理責任者の選任		
騒音・振動規制法	特定施設の届出	コンプレッサー、破砕機	2015/9/1
静岡県生活環境の 保全に関する条例	特定施設の届出	コンプレッサー、破砕機	2015/9/1
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	2015/9/1
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2015/9/1
環境基本法	一般的な自主努力	EA21の取組	2015/9/1
地球温暖化対策 推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力、EA21の取組	2015/9/1
循環型社会形成 推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促 進	2015/9/1
自動車 リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	2015/9/1
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	2015/9/1
	保守点検の実施	3ヶ月に1度	
	定期清掃の実施	おおむね1年に1度	
	指定検査機関による定期水質検査	1年に1度	
グリーン購入法	環境配慮物品の購入	エコマーク商品	2015/9/1
消防法	指定可燃物の届出	木くずの多量保管	2015/9/1

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体評価と見直し結果

作成 平成28年7月1日

1・見直し関連情報	項目		確認：（必要に応じて評価・コメント記載）
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> ガソリン、水は未達
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて報告するようにします
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙報告の通り
	8	その他（ ）	<input type="checkbox"/>

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>全体的に達成しているように見えるが細かい点でまだ取り組めるものもあるように思える。 全体としてシステムの有効性、取組の適切性、妥当性は有りと判断できました。 環境負荷等を数値化し目標を立て取り組むことは大変意義のあることと感じました。 いくつかの目標未達成のものは今後の課題として意識を高めて削減に取り組みます。 まだ始めたばかりであり環境方針や環境マネジメントシステムその他については変更の必要性はないと判断しますが、目標を達成するよう環境活動計画等を見直すことを下記のような環境管理責任者に指示しました。</p> <p style="text-align: right;">平成28年7月1日 株式会社 ACフューエル 代表取締役 新井 芳高</p>		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	2 環境目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	未達成になった要因を把握し目標の立て方を検討すること
	3 環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	未達成の目標については活動計画を見直し意識改革を行うこと
	4 環境に関する組織	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	5 その他のシステム要素	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	6 その他（外部への対応）	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	